

【月案】5月・0歳児

今月の保育のポイント

- 子どもが快の状態でいられることをねらいとする。4月から向き合ってきた経験を活かし、子どもの状況や性格、リズムに合わせながら離乳食の進め具合、睡眠のとり方を決めていく。
- うつ伏せになりハイハイできるところ、ゆっくり落ち着いて眠れるところなど、気持ちよく過ごせるような環境を設定する。
- 連休明けで精神的に不安定な状態が予想され、気温が高くなる日もあるので、子どもの体調管理には気を配る。衣服を調節し、こまめに水分をとったり、睡眠の時間を調整等しながらも、愛着関係を築きながらゆったり関わる。

月のねらい

- ゆったりとした雰囲気の中で、個々の生活リズムに合わせて安心して過ごす。
- 興味を持った玩具で遊んだり保育者と関わったりしながら、機嫌よく遊ぶ。
- ハイハイや腹這いなど、身体を動かして遊ぼうとする。
- 一人ひとりの欲求を汲み取りながら情緒の安定を図る。
- その日の気温や遊びの様子に応じた環境を整え、快適に過ごせるようにする。
- 保育者と一緒に自然に触れて遊ぶことを楽しむ。

週のねらい

その1

- 1週目：生活リズムを整え、安心して過ごす（教育）
- 2週目：特定の保育者と関わりを深め、ふれあい遊びを楽しむ（教育）
- 3週目：興味を持った玩具で遊び、機嫌よく過ごす（養護）
- 4週目：ハイハイなどを意欲的に行い、身体を動かすことを楽しむ（教育）

その2

- 1週目：玩具を振ったりして、感触や音を楽しむ（教育）
- 2週目：ハイハイなど体を動かすことを楽しみ、午睡のリズムをつけていく（養護）
- 3週目：戸外にでて自然に触れることで気持ちよく過ごす（教育）
- 4週目：食事や睡眠など生理的欲求に応じて満足できるようにする（養護）

その3

- 1週目：連休明けの疲れや不安等に寄り添い、安心して過ごせるようにする（養護）
- 2週目：気になる玩具や場所へ腹這いや歩行等で移動し、積極的に関わる（教育）
- 3週目：手遊びや音楽に合わせて体を揺らすことを楽しむ（教育）
- 4週目：衣服調節や水分補給を行い、健康に過ごせるようにする（養護）

その4

- 1週目：保育者と一緒に子どもの日の行事に参加する（教育）

- 2週目：保育者の見守りのもと、全身を使って探索活動を楽しむ（教育）
- 3週目：春の草花を見たり、触れたりしながら遊ぶ（教育）
- 4週目：喃語を発し、保育者に受け止めてもらうことを楽しむ（教育）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- 新しい環境や保育者に慣れず、泣いて過ごす姿が多く見られたが、担任などの特定の保育者との関わりを持つことで、機嫌よく過ごせる日が増えてきている。お腹がすいたりオムツが濡れると泣く子どもがいるが、オムツ交換を嫌がって泣く子どももいる。
- 寝付くまでに時間がかかり、なかなか眠れない子どももいる。食事の量には個人差があり、意欲的に食べ進められる子どももいるが、嫌いな離乳食は出してしまう子どももいる。また、ミルクの量も個人により量に差がある。
- 担任に名前を呼ばれると、嬉しそうに笑う姿が見られる。
- 保育室内やホール等をハイハイやつたい歩き等で探索する姿がみられた。
- おやつや離乳食を手づかみで食べることを喜ぶ。
- 歯が生え始めに伴い、よだれが増えたり、玩具を噛むことが多くなった子がいる。
- 顔や手を拭いてもらうことを嫌がる子、嫌がらない子がいる。
- 環境の変化による疲れから、発熱や風邪症状等が見られていた。

教育（遊び）

- 近くにある玩具は何でも舐めている。
- 抱っこやおんぶなどねだる子どももいる。
- 保育者との関わりを喜び、ふれあい遊びを楽しんでいる。
- 腹這いやハイハイで移動したり、寝返りをして近くにある玩具に手を伸ばそうとしている姿がある。
- 伝い歩きをしようと柵を持って立ち上がる姿が見られる子どももいる。
- 楽しい時や機嫌の良い時に、喃語が出る子どももいる。
- 保育者がうたうと顔を見つめたり、体を揺らしたりする。
- 玩具を握ったり、持ち替えたり叩いたりしながら遊んでいる。
- 友達に興味を示し、覗き込んだり、触れようとする。
- 新しい玩具や遊び等は不安を示し、保育者が一緒に遊ぶことで少しずつ自分から関わろうとする姿が見られた。
- 園庭に出ることを嫌がる子はおらず、こいのぼりを見つめたり、春の風を感じながら穏やかに過ごしていた。
- 音や動きがある玩具を目で追ったり、追いかけようとする。触れることを嫌がる子もいる

活動内容（3つの視点対応）／環境構成と援助

養護（生活）

- 活：連休明けには保育者としっかりと関わり、安心して過ごせるようにする。（ヒト）
環：連休明けで情緒が安定しない子どもには、特定の保育者がじっくりと関わり、安心感が持てるようにしていく。

- 活:食事の際にはゆったりとした雰囲気の中で、意欲的に食べ進めようとする。(健やか)
環:食事のタイミングは個々のリズムに合わせとり、ミルクや離乳食などそれぞれの食事を楽しい雰囲気の中で進められるようにする。
- 活:オムツを取り替えてもらい、綺麗になった心地よさを感じる。(健やか)
環:オムツを取り替える際には「オムツ変えようね」「気持ち悪かったね」など具体的に表現しながら取り替えていく。
- 活:保育者に生理的欲求を満たしてもらい、満足感を感じる。(健やか・ヒト)
環:子どもが泣いている原因を考えたり気持ちに寄り添ったりし、生理的欲求が満たせるように援助する。
- 活:意欲的に手づかみ食べをし、ひと口ずつ噛んで食べる。(健やか)
環:手でつかみやすいよう、形や大きさを整え、ひと口量を小皿に取り分ける。保育者や口を動かす姿や声掛けをすることで、噛むことを意識づけていく。
- 活:特定の保育者としてしっかり触れ合い、かかわりを深める。(ヒト)
環:特定の保育者と一対一で関わる時間を大切に、触れ合い遊びや気に入った物の共有、絵本の読み聞かせなど言葉と表情で関わり、関係を深める。
- 活:自分で寝がえりをしようとする(健やか)
環:子どもの興味を惹くおもちゃや、子どもの向いている方向と逆から声掛けをすることで、寝返りを促進する。
- 活:泣いたり笑ったりしながら欲求や気持ちを伝えようとする。(健やか)
環:「嫌だったね」「嬉しいね」と温かな目線と抱っこや体の触れ合いで受け止め、安心して表現出来るようにする。
- 活:機嫌や食欲を丁寧に観察し、健康に過ごせるようにする。(健やか)
環:連休明けは疲れが見られるため、一人ひとりの様子に応じて無理なくゆったりと過ごせるよう関わる。又、感染症に罹患しやすい年齢のため、機嫌や食欲をよく観察して早期対応に努める。
- 活:衣服交換や水分補給をして心地よく過ごせるようにする。(健やか)
環:気温や遊びによって、汗をかくことも予想される時期のため、「暑いから着替えようね」と言葉かけしながら衣服交換して心地よく過ごせるようにする。
- 活:園の環境に慣れ、探索しながら過ごす。(モノ)
環:誤飲や怪我に繋がらないよう探索する場所の安全確認を行っておく。探索する子どもの目線で「○○だね」と発見を代弁しながら探索の楽しさや園を親しむ気持ちに繋げる。
- 活:安心できる環境の中で眠る。(健やか)
環:室内の明るさを調節し、添い寝や抱っこ、おんぶ等一人ひとりが安心できる方法で子守歌をうたったり体に触れながら心地よく入眠出来るようにする。
- 活:戸外へ行くことを喜び、帽子被ったり靴下を履くことに慣れる。(モノ)
環:「お外行こうね」「靴下履くよ」等言葉かけしながら、毎回同じ流れで準備を進めていくことで戸外へ行く準備と認識出来るようにする。着用を嫌がる時は無理なくベビーカーや抱っこ、日よけ等で対応する。
- 活:保育者に親しみ、抱っこをされると泣き止んだり喜んだりする。(ヒト)
環:目線を合わせたり、優しく腕で包み込むことで安心感や“愛されている”という喜びに繋げ、保育者との安定した信頼関係に繋げていく。

教育(遊び)

- 活:ハイハイやずり這い、伝い歩きなどで身体を動かそうとする。(健やか)
環:手の届くものはなんでも触ってみようとするため、床に危険なものがないよう注意する。特に目立ちにくいホッチキスの芯やクリップなどは、保育室に持ち込まないなど徹底して確認する。つかまり立ちなどをした際に柵が倒れたり揺れたりしないよう、しっかりと固定されているか改めて確認する。
- 活:興味を持った玩具で遊んでみようとする。(モノ)
環:安全に遊べるスペースを確保し、口に入れても誤飲や怪我のない玩具を準備しておく。

- 活:散歩や戸外で遊び、日差しの心地よさやまぶしさを感じる。(健やか・モノ)
環:戸外に出る際には安全面に配慮し、順番に出たり少人数で出るなど工夫していく。
- 活:保育者との関わりを喜び、話しかけに応えるように難語を発しようとする。(ヒト)
環:保育者と触れ合う際にも急な転倒や勢い余って床に身体をぶついたりすることがないように、子どもの動きをよく注意しながら関わっていく。
- 活:絵本などにも興味を持ち、ページをめくったり好きな場面を開いたりする。(モノ)
環:絵本をいつでも取り出せるようにしておき、子どもと一緒に子どもの好きな場面を楽しむなど子どもの意欲を引き出す。
- 活:手遊びやリズム遊びを通して、身体を揺らしたり喃語を発して楽しむ。(モノ)
環:手遊びやリズム遊びは比較的真似しやすく簡単なリズムのものを準備し、子どもが興味を持てるよう工夫しながら提供する。
- 活:保育者に支えてもらいながら立ったり、少し歩いたりする。(健やか・ヒト)
環:子どもが手押し車を押したり、保育者に支えられる経験を増やすことで、立って歩きたい気持ちを引き出していく。
- 活:砂や草など、色々な物に触れて遊ぶ。(モノ)
環:戸外で様々なものに安全に触れられるよう、危険な物の排除や体調、気温、天候に留意する。子どもが怖いと感じるものは無理強いせず、他の子が遊んでいる姿や保育者が持つ姿を見せる。
- 活:「アウ」「アー」「アン」など、自分の気持ちを言葉で表現する。(ヒト)
環:子どもと目を合わせ、やさしく一対一で関わる時間を作る。「これは楽しいね」「これが好きなのかな?」「欲しかったね」等、遊びの中で心の動きを表す言葉を共感や代弁の形で投げかけていく。
- 活:玩具を持ち、振ったり、叩いたり、舐めたりしながら遊ぶ。(モノ)
環:「○○持ってたね」「カラカラ音がするね」等と安全面に留意しながら遊びを見守り、周りの物に触れて遊ぶ楽しさが芽生えるよう関わる。
- 活:玩具に手を伸ばしたり、玩具のところまで移動して遊ぼうとする。(健やか・モノ)
環:自分の力で玩具を取ろうとする姿を見守り、必要に応じて玩具を側に置き、自分で握れたという喜びに共感しながら関わる。
- 活:保育者と触れ合う中で座ったり、腹這いになったり様々な体の使い方をする。(健やか・ヒト)
環:「お座りしてみよう」「くるりんするよ」と言葉かけしながら体をそっと動かしたり体を支えることで、様々な体の動きを経験できるよう関わり、運動発達に繋げていく。
- 活:好きな音や感触を繰り返して楽しむ。(モノ)
環:保育者が音を鳴らして見せたり、感触を味わう様子を示しながら興味に繋げ、遊ぶ姿を側で見守りながら楽しさに繋げたり感覚を育てていく。
- 活:友達の存在に興味を示し、触れ合おうとする。(ヒト)
環:友達に対する興味を受け止め、「○○ちゃんだよ」「いいこいいこね」と優しく触れ合えるよう働きかけ、友達への興味が持続するよう関わる。
- 活:春の草花や虫を見たり、鳥の鳴き声を聞く中で春の自然を感じる。(モノ)
環:「タンポポだよ」「テントウムシだよ」と保育者が知らせ、じっくりと見れるようにすることで身近な自然に触れられるようにする。
- 活:好きな玩具や絵本を持って保育者のもとで遊ぼうとする。(ヒト・モノ)
環:「これが好きね」「一緒に遊ぼうね」と温かく受け止めながら、安心できる保育者のもとで存分に遊べるようにする。
- 活:座った状態からつかまり立ちをしたり、立った状態から座ったり、自分で姿勢を変えてみようとする。(健やか)
環:一人ひとりの行動に目を配りながらバランスが不安定な子の側につき、自分で姿勢を変えようとする姿を見守る。笑顔で認めて喜びに繋げたり、必要に応じて体を支えて姿勢を変える感覚を感じられるようにする。
- 活:保育者が「ちょうだい」と話すと、持っている玩具を渡そうとし、やりとりを楽しむ。(ヒト・モノ)
環:「どうぞ」「ちょうだい」「ありがとう」と身振りを添えて関わり、玩具の受け渡しを通してコミュニケーション能力を育てていく。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 気温の変化が激しい時期であるため、暑い日にはいつもよりも水分をとるよう呼びかける。
- ずりばいやハイハイで動き回る子どももいるため、保育室内の床に危険なものがないよう注意する。また、棚の上から物が落ちたりすることがないように、棚の上にも重いものを置かないなど配慮する。
- 連休明けで不安定な日が続く時には、無理に活動はしないでゆったりと遊んだり保育者と関わる時間を設けるようにする。また、疲れによって体調に変化が出ていないかなども気にかける。
- 連休中の生活リズムを把握し、無理なく生活リズムを整えていけるようにする。
- 口に入れた玩具は小まめに消毒し、清潔を保つ。
- 担任間で一人ひとりの発達、援助について話し合ったり、保育者の配置について確認し、安全な環境作りをする。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- 手形でカーネーション／はるいろ風車／変化が楽しいこいのぼり製作

歌

- ありさんのおはなし／てんとうむしのたび／こいのぼり

絵本

- ぎゅぎゅぎゅのぎゅー／まてまてさん／いない いない ばあ のえほん

手遊び

- ちょちょちあわわ／つくしんぼ／おべんとうばこのうた

室内室外遊び

- ダンボールに乗ってくぐって被って／サーキット遊び／シャボン玉を追いかけて

行事

- 憲法記念日(5月3日)
- みどりの日(5月4日)
- こどもの日(5月5日)
- 愛鳥週間(5月10日～16日)
- 母の日(5月第2日曜日)
- 身体測定
- 健康診断
- 避難訓練
- 誕生日会
- クラス懇親会

食育

- 食前や食後に手や口をきれいにする心地よさを味わう。
- 保育者に食べさせてもらったりしながら食事に興味を持ち、手づかみなど自分で食べようとする。
- 園の離乳食の味や感触等に慣れ、食事を喜ぶ。
- 授乳を喜び、哺乳瓶に手を伸ばしたり、安心した気持ちでミルクを飲む。

異年齢保育

- 友だちの持つ玩具への興味を受け止め、「かして」など言葉でのやり取りを示す。
- 自分なりの言葉やしぐさを通じて友だちと関わる姿を見守り、必要に応じて言葉を添える。
- 友だちに対する興味に寄り添い、遊びを壊さないよう仲立ちしながら、心地よく関われるようにする。
- 手遊びをする友だちのまねをしたり、じっと見つめる姿に寄り添い、楽しさを共有する。
- 保育者の側を離れないときは、少人数でのわらべうたあそびを行い、友だちとの関わりを作る。

職員間の連携

- 連休明けは特に体調の変化に留意し、家庭での過ごし方を把握し、機嫌や食欲を観察して共有する。
- 生活リズムが安定しない子にも柔軟に対応できるよう、園全体で協力しながら連携体制を整える。
- 懇談会に向けて、4月からの様子をまとめたり、保護者同士が交流できるような内容を話し合う。
- 個々の離乳食の進み具合を調理員と共有しながら、家庭のペースと合わせて無理なく進めていく。
- 月齢による動きの違いに留意し、職員体制に応じて、少人数で落ち着いて過ごせるよう配慮する。

地域と家庭との連携

- 連休明けは疲れが出やすく、生活リズムが整いにくい。体調に気をつけ、お家でもゆったりと過ごせるようにサポートをお願いする。
- 日によって気温差がある時期なので、体温調節がしやすい服装を用意してもらう。
- クラス懇親会など園の行事を前もって知らせ、参加してもらえるよう協力を呼びかける。
- 子どもの様子を連絡帳や直接お話しして伝え、各家庭としっかり信頼関係を築く。
- 連休中の生活リズムや子どもの姿等について共有する。
- 衣服やスタイ、オムツ等多めに用意してもらう。
- 懇親会では保護者同士の交流の場を設け、育児に対する不安や悩みが軽減するようにする。
- 散歩では地域の方に積極的に挨拶し、挨拶し合う温かな関係性を作れるようにする。

長時間保育の配慮

- 誤飲につながる恐れのある細かい玩具は、合同保育の前に片づけておく。
- 普段から親しんでいる玩具や絵本を持って行き、安心感を持って過ごせるように配慮する。
- 週末は特に荷物が多いため、返し忘れや間違いがないよう、持ち物の名前を確認して整頓しておく。
- 個々の排尿間隔に合わせてオムツ交換を行い、心地よさを感じながら過ごせるようにする。
- 夕方に眠くなる子もいるため、落ち着いたスペースを準備し、静かに眠れる環境を整えておく。

自己評価

- 生活リズムを整え、機嫌よく過ごせていたか。

- 安全な環境の中で、身体を動かすことをたのしむことができたか。
- ゆったりとした雰囲気の中で食事をし、意欲的に食べ進めようとしていたか。
- 特定の保育者との関わりを喜び、安心感を持って遊んだり眠ったりすることができたか。
- オムツを変えてもらう心地よさを子どもが感じられるよう援助できたか。
- 戸外に出ることも喜び、日の心地よさや自然の風を感じることもできたか。
- 絵本に親しみ、興味を持っていたか。
- リズム遊びの際には、身体を動かして機嫌よく過ごす姿が見られたか。
- 玩具にも興味を持ち、触ってみたり遊ぼうとする姿が見られたか。
- 一人ひとりの欲求を汲み取ろうとし、満たせるよう関わったか。
- 衣服調節や水分補給を行い、健康に過ごせるようにしたか。
- 一人ひとりと一対一で触れ合う時間を大切にし、信頼関係を築いたか。
- 保育者や園の環境に慣れ、探索活動が活発になったか。
- 一人ひとりの運動発達に合った関わりを持てたか。
- 様々な感触や音に触れられるような遊びを提供したか。
- 友達に興味を持つ姿を大切にしながら、関われるよう援助したか。
- 担任間で食事や遊び、運動発達等について小まめに共有したか。
- 保護者と子どもの様子や成長等について共有し、安心感や喜びに繋がったか。

ほいくのおまもり Plus!

文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。

ほいくのおまもりプラス・トップページ

